

財政健全化判断比率など

市では、毎年度、財政指標を算定しています。平成29年度の決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率は次のとおりで、早期健全化基準を下回っています。

	健全化判断比率 (単位：%)			
	実質赤字	連結実質赤字	実質公債費	将来負担
平成29年度	— (13.10)	— (18.10)	7.5 (25.0)	64.5 (350.0)
平成28年度	— (13.10)	— (18.10)	7.6 (25.0)	82.9 (350.0)

※「—」は赤字額がないことを表しています。
※下段（ ）書きは、早期健全化基準

■資金不足比率

資金不足となった会計（水道事業会計・公共下水道事業特別会計・農業集落排水事業特別会計）はありません。

早期健全化基準…財政収支が不均衡な状況や財政状況が悪化した状況において、その財政の健全化を図るべき基準。4つの指標のうち1つでも基準以上になると「早期健全化団体」に指定されます。

実質赤字比率…地方公共団体の一般会計などの赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すもの。

連結実質赤字比率…すべての会計の赤字や黒字を合算し、赤字の程度を指標化。全体としての財政運営の深刻度を示すもの。

実質公債費比率…借入金（地方債）の返済額などの大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示すもの。

将来負担比率…借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担などの残高の程度を指標化。将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すもの。

市債の状況（現在高）

会計名	平成28年度末	平成29年度末
一般会計	233億5,693万円	242億5,060万円
水道事業	17億6,280万円	20億6,993万円
公共下水道事業	45億2,829万円	44億4,389万円
農業集落排水事業	21億9,522万円	20億9,192万円
一部事務組合分	81億3,653万円	75億3,827万円
合計	399億7,977万円	403億9,461万円

市の家計簿チェック

つくばみらい市の平成29年度一般会計決算を、年間600万円（月50万円）の生活をしている家庭に例えて、1カ月分の家計簿を作ってみました。

25万6000円 家族で稼いだお金など	毎月の収入		毎月の支出		生活費32万5394円
	収入項目	金額	支出項目	金額	
	お父さんの給料（市税）	188,500円	食費（人件費）	68,029円	
	お母さんのパート収入 （使用料・手数料など）	45,500円	医療費（扶助費）	64,311円	
	貯金引き出し（繰入金）	22,000円	光熱費・洋服代（物件費）	99,213円	
	実家からの援助 （地方交付税・国庫支出金など）	190,000円	車や家具の修理代（維持補修費）	2,829円	
	ローン借り入れ（市債）	54,000円	兄への仕送り （他会計への繰出金・補助費・貸付金など）	111,012円	
	収入合計	500,000円	家の増改築（投資的経費）	92,535円	
			ローン返済（公債費）	37,673円	
			貯金（積立金）	8,189円	
			支出合計	483,791円	
			◎翌月への繰越（収入・支出の差引）	16,209円	

※わかりやすくするために1カ月分で作成しましたが、一般会計と対比するためには、年間収支での比較となります。

【市民1人の歳出額】

1人あたり 40万7,948円

平成29年度の一般会計歳出額を平成30年3月末現在の人口5万1,570人で割ったおおよその金額です。

農林水産業費
14,153円



農業振興などの費用

衛生費
21,364円



健康診断、ごみ処理、放射能対策などの費用

民生費
119,058円



福祉、子育て支援などの費用

総務費
35,562円



市役所管理などの費用

その他
12,997円



議会運営、商工振興などの費用

公債費
31,379円



借入金（市債）の返済金

教育費
109,004円



学校、公民館、図書館などの費用

消防費
16,914円



消防、防災などの費用

土木費
47,517円



道路、公園、都市計画などの費用